

京都府の地震活動

平成31年（2019年）3月

第 32 卷 第 3 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】2018年6月18日 大阪府北部の地震について⑥	・・・ 7

『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

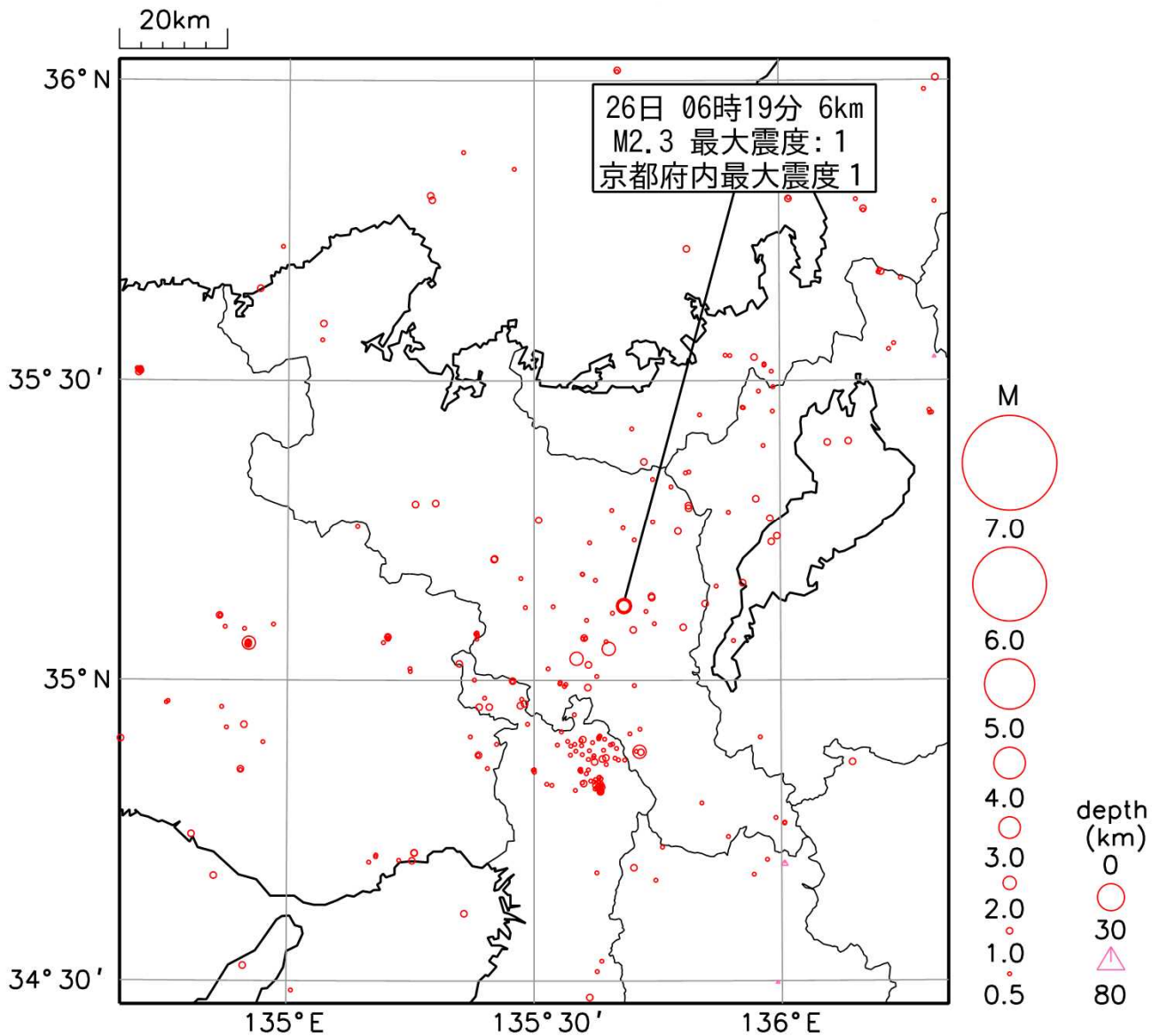
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2019 03 01 00 : 00 - 2019 03 31 24 : 00

総数 : 279



- ・震源の深さを表す「○、△」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに応じたサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については、京都府内最大震度を付記。

概況

3月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は6回、震度1以上の揺れを観測した地震は1回発生しました（2月はそれぞれ7回、2回）。

京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は3回ありました（2月は0回）。

9日01時08分 岐阜県美濃中西部の地震（図の領域外：M4.4、深さ42km）により、東海から近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。京都府内ではこの地震により木津川市、宇治田原町、南山城村で震度1を観測しました。

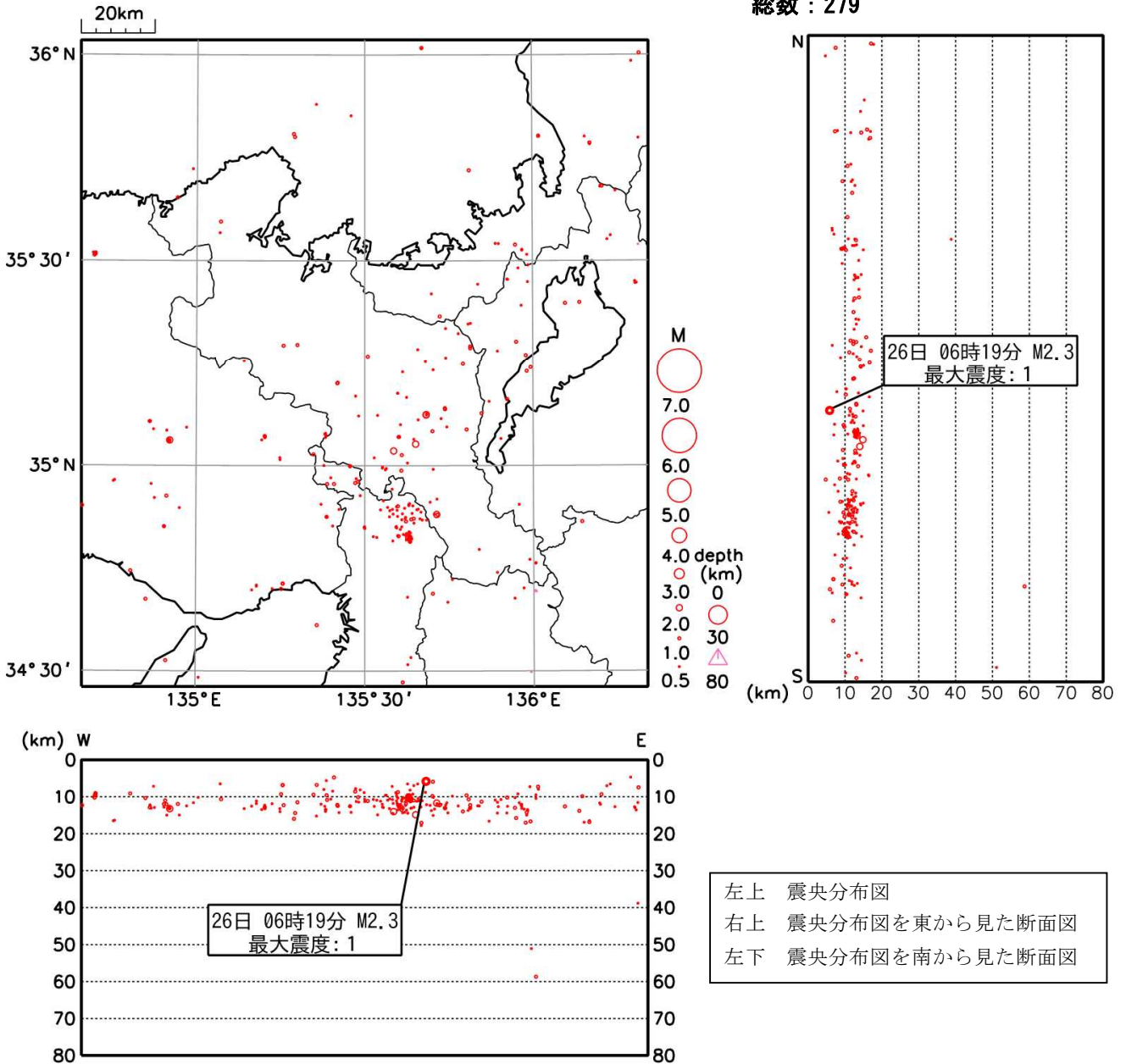
13日13時48分 紀伊水道の地震（図の領域外：M5.3、深さ43km）により、東海から中国・四国地方にかけて震度4～1を観測しました。京都府内ではこの地震により複数観測点で震度2～1を観測しました。

26日06時19分 京都府南部の地震 (M2.3、深さ6km) により、京都府京都市右京区で震度1を観測しました。

震央分布図、断面図 (マグニチュード0.5以上、深さ0~80km)

2019 03 01 00:00 - 2019 03 31 24:00

総数: 279



・震源の深さを表す「○、△」の記号は、マグニチュード (M) の大きさに対応したサイズで表記。

深さ数 km~約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震 (地殻内地震)、深さ約 30km~約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2019年3月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	3月9日	01:08	岐阜県美濃中西部	35° 22.3'	136° 41.0'	42	4.4
②	3月13日	13:48	紀伊水道	33° 48.0'	134° 54.8'	43	5.3
③	3月26日	06:19	京都府南部	35° 07.4'	135° 40.9'	6	2.3

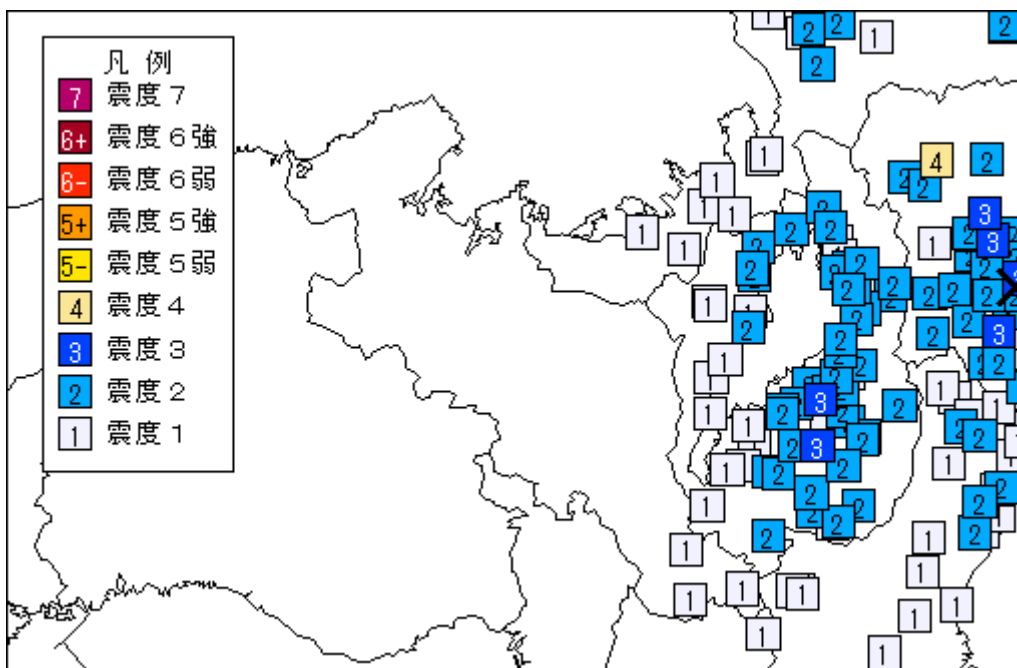
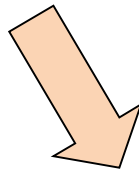
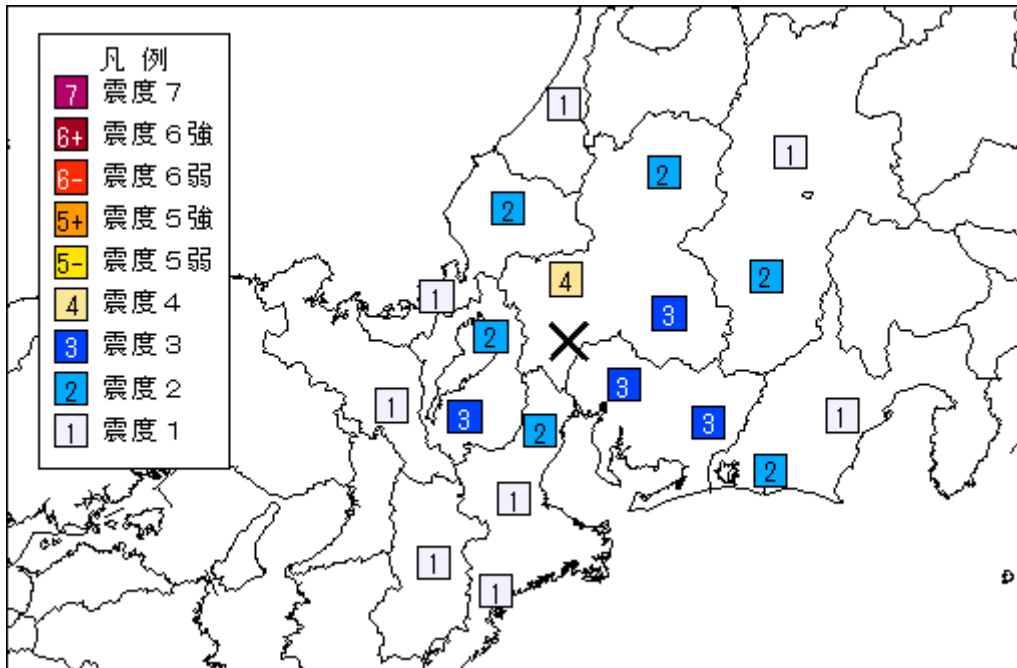
地域	震度観測点	所属	各地の震度		
			①	②	③
北 部	福知山市内記	気	-	-	-
	福知山市長田野町	防	-	-	-
	福知山市三和町千束	自	-	-	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	-	-
	福知山市大江町河守	自	-	-	-
	舞鶴市下福井	気	-	1	-
	舞鶴市浜	防	-	-	-
	舞鶴市北吸	自	-	1	-
	綾部市若竹町	自	-	-	-
	宮津市柳縄手	自	-	-	-
	伊根町亀島	防	-	-	-
	伊根町日出	自	-	-	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-	-	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-	1	-
	京丹後市峰山町	自	-	-	-
	京丹後市大宮町	自	-	-	-
	京丹後市網野町	自	-	-	-
	京丹後市丹後町	自	-	-	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-	-	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-	-	-
与謝野町加悦	自	-	1	-	
与謝野町岩滝	自	-	1	-	
与謝野町四辻	自	-	1	-	
南 部	京都北区紫竹	自	-	-	-
	京都北区中川	自	-	-	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-	1	-
	京都上京区今出川御前	自	-	-	-
	京都左京区広河原能見町	防	-	-	-
	京都左京区田中	自	-	1	-
	京都左京区鞍馬	自	-	-	-
	京都左京区花脊	自	-	-	-
	京都左京区岩倉	自	-	-	-
	京都左京区大原	自	-	-	-
	京都中京区西ノ京	気	-	1	-
	京都中京区河原町御池	自	-	1	-
	京都東山区清水	自	-	-	-
	京都下京区河原町塩小路	自	-	1	-
	京都南区西九条	自	-	-	-
	京都右京区京北周山町	自	-	-	1
	京都右京区太秦	自	-	-	-

地域	震度観測点	所属	各地の震度		
			①	②	③
南 部	京都右京区嵯峨	自	-	-	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-	-	-
	京都伏見区竹田	自	-	2	-
	京都伏見区醍醐	自	-	2	-
	京都伏見区向島	自	-	2	-
	京都伏見区淀	自	-	1	-
	京都伏見区久我	自	-	1	-
	京都山科区安朱川向町	防	-	1	-
	京都山科区西野	自	-	1	-
	京都西京区樫原	自	-	-	-
	京都西京区大枝	自	-	2	-
	宇治市宇治琵琶	気	-	2	-
	宇治市折居台	防	-	2	-
	亀岡市安町	気	-	1	-
	亀岡市余部町	防	-	1	-
	城陽市寺田	自	-	2	-
	向日市寺戸町	自	-	2	-
	長岡京市開田	自	-	2	-
	八幡市八幡	自	-	2	-
	大山崎町円明寺	自	-	2	-
久御山町田井	自	-	2	-	
京田辺市田辺	自	-	2	-	
井手町井手	自	-	-	-	
宇治田原町荒木	自	1	2	-	
笠置町笠置	自	-	1	-	
和束町釜塚	自	-	2	-	
精華町南福八妻	自	-	2	-	
南山城村北大河原	自	1	2	-	
京丹波町坂原	気	-	-	-	
京丹波町蒲生	自	-	-	-	
京丹波町橋爪	自	-	-	-	
京丹波町本庄	自	-	-	-	
南丹市美山町島	自	-	-	-	
南丹市園部町小桜町	自	-	-	-	
南丹市八木町八木	自	-	1	-	
南丹市日吉町保野田	自	-	-	-	
木津川市山城町上狛	自	-	2	-	
木津川市加茂町里	自	1	2	-	
木津川市木津	自	-	2	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、3月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

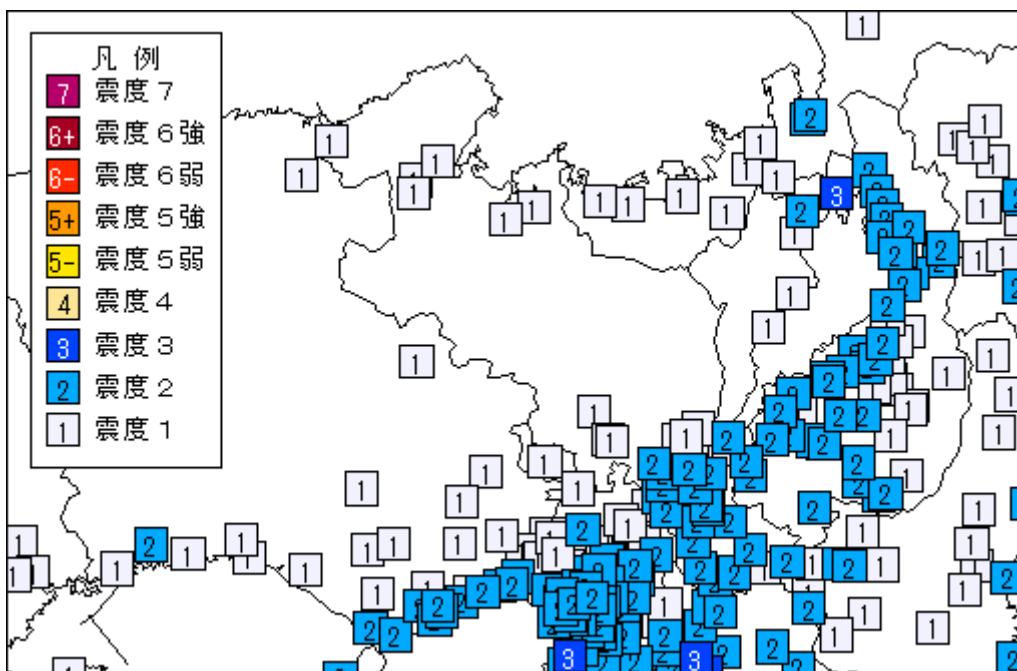
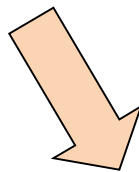
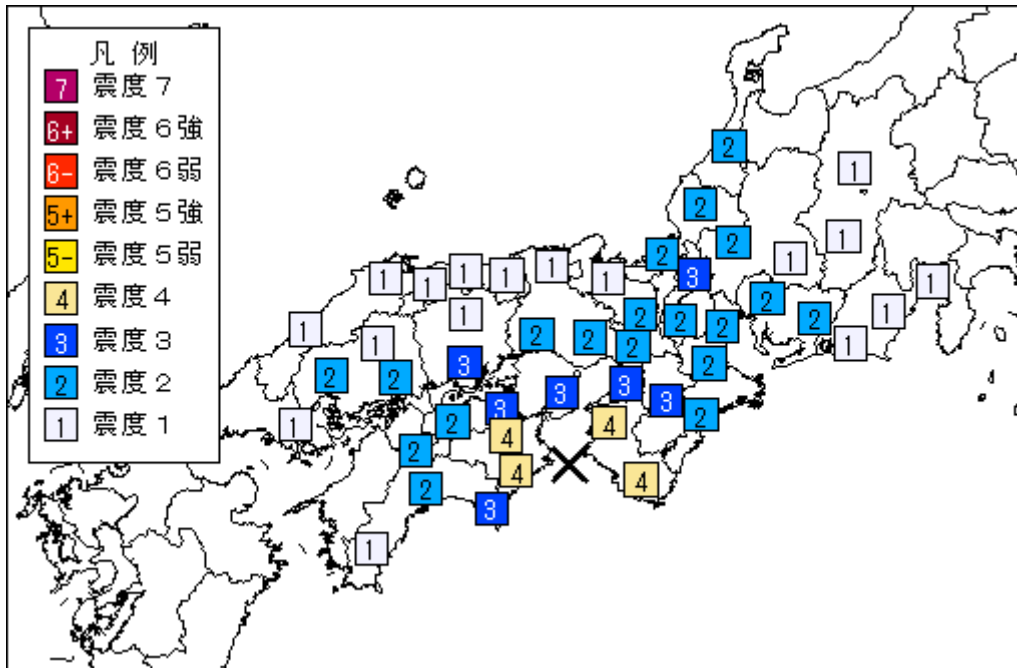
①京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図
 (上図：地域別、下図：観測点別)



3月9日 01時08分 岐阜県美濃中西部の地震 (M4.4、深さ42km)

(図中の×印は震央位置)

②京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図
 (上図：地域別、下図：観測点別)



3月13日 13時48分 紀伊水道の地震 (M5.3、深さ43km)

(図中の×印は震央位置)

③京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



3月26日 06時19分 京都府南部の地震（M2.3、深さ6km）

（図中の×印は震央位置）

【地震一口メモ】

2018年6月18日 大阪府北部の地震について⑥

2018年6月18日に大阪府北部で発生した最大震度6弱の地震では、死者6人、負傷者462人、住家全壊21棟、住家半壊454棟などの被害が発生しました（2019年2月12日13時00分現在、総務省消防庁による）。この地震は「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」や「平成28年（2016年）熊本地震」と同じく、陸域の浅い場所で発生した地震でした。

2019年3月末までのこの地震に伴う一連の地震活動について解説します。

次の表は、2019年3月31日までに、大阪府北部の地震の震源周辺（図1の領域a内）で発生した地震の月別の最大震度の回数です。震度1以上を観測した地震の回数は70回でした。

表1 最大震度別地震回数表（図1の領域a内） 2018年6月18日～2019年3月31日

期間	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
2018年6月18日～6月30日	25	11	4	1			1			42
7月1日～7月31日	9	3	1							13
8月1日～8月31日	2		1							3
9月1日～9月30日		1								1
10月1日～10月31日	5									5
11月1日～11月30日	2									2
12月1日～12月31日	3	1								4
2019年1月1日～1月31日										0
2月1日～2月28日										0
3月1日～3月31日										0
合計	46	16	6	1	0	0	1	0	0	70

図2は、図1の領域内の地震活動の経過をグラフにしたものです。体に感じないような小さな地震活動を含めて減衰傾向にあります。発生する前に比べて、地震活動の活発な状況が続いていることがわかります。今後も現状程度の地震活動は当分続くと考えられます。今回発生した地震の周辺には、有馬-高槻断層帯、上町断層帯、生駒断層帯など複数の活断層があることにも留意が必要です。

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありません。引き続き、日頃からの地震への備えを心がけてください。

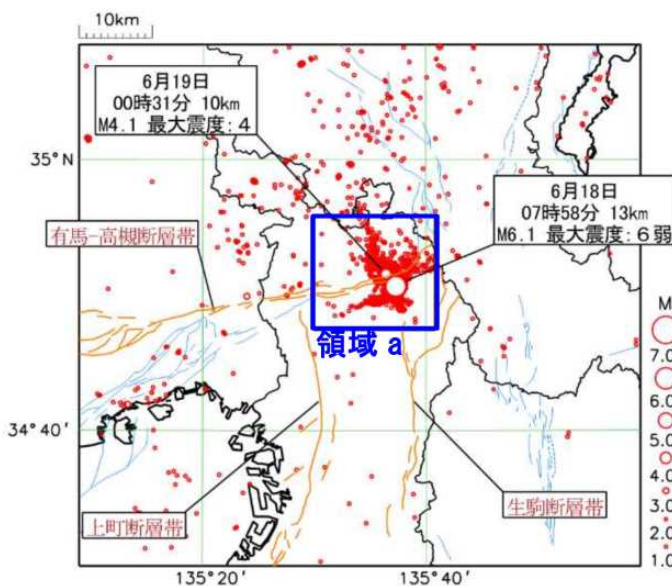


図1 震央分布図

2018年1月1日～2019年3月31日
 深さ0～20km、マグニチュード（M）1.0以上
 ※橙色、水色の線は地震調査研究推進本部の
 長期評価による活断層を示す

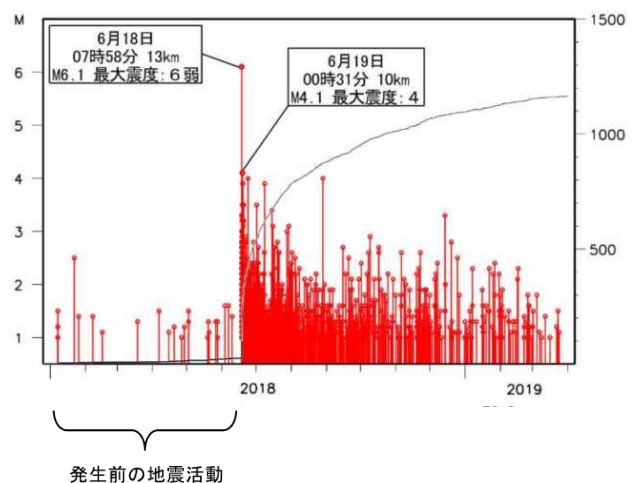


図2 図1の領域a内の地震活動経過及び回数積算図

※横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数
 折れ線は地震の回数を足上げたものであり、
 縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す